

重要

地震対策マニュアル  
(透析患者様用)

～第4版～

# 目次

## はじめに

東海地震とは	…	2
招集会及び警戒宣言とは	…	2
緊急地震速報とは	…	2

## 対応方法

警戒宣言発令後	…	3
地震発生時	…	3
地震発生後	…	4
院内にいる場合	…	4
①避難方法	…	5
②避難経路	…	6
③避難場所	…	6
院内にいない場合	…	7

災害用伝言ダイヤルの利用方法	…	8
----------------	---	---

(他院の電話番号)	…	9
-----------	---	---

災害カードについて	…	10
-----------	---	----

おわりに	…	10
------	---	----

# はじめに

## 東海地震とは

現在、東海地震についていろいろと騒がれています。なぜここまで取り上げられているかというと、東海地震は必ず起こる地震と言われているからです。しかし、東海地震は予測が可能な地震とも言われています。今のところマグニチュード8以上であろうと推測されています。ちなみに阪神・淡路大震災はマグニチュード7.2、東日本大震災ではマグニチュード9.0でした。

## 招集会及び警戒宣言とは

東海地震の場合は地震観測データに異常が現われた時、それが大地震に結びつくかどうかを判断するために地震の専門家が招集され「地震予知判定会」が開かれます。これにより大地震の前兆と判断された時に「警戒宣言」が発令されます。しかし、警戒宣言と言っても発令後の数時間から2～3日以内に地震が発生する恐れがあるというものです。警戒宣言が発令されることなく、突発的に地震が発生する可能性もあります。

## 緊急地震速報とは

気象庁が発表する情報で、震度5以上と推定される地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が発生すると思われる地域の名前を知らせるものです。

しかし緊急地震速報が発表されてから強い揺れが来るまでの時間は数秒～数十秒しかありません。また震源近くでは、速報が間に合わないこともあります。この短い間に身を守るための行動を取りましょう。

# 対応方法

## 警戒宣言発令後

- ・ 警戒宣言発令後の数時間から2～3日以内に地震が発生する恐れがあるということは、2～3日位は地震が発生しない可能性もあるということです。本来なら透析治療を控えたいものですが、透析治療を2～3日行わない訳にもいきません。そのため原則として当院では警戒宣言が発令されても透析治療を続行します。ただし、もう少し具体的な予知が出された場合には、透析治療を中止することもあります。患者様ご自身で判断がつかない場合には、当院へ電話するなどして確認を取って下さい。

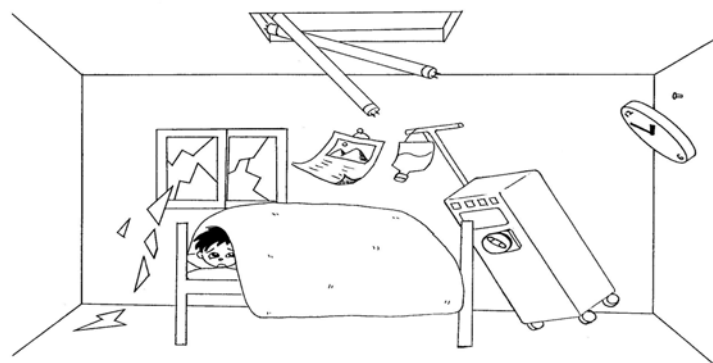
- ・ 地震によってこの地域の透析施設での治療が不可能となった場合、数日間は透析が受けられない可能性があります。普段から飲水やカリウム（食べ物）の摂取を控え、災害発生時は特に注意して下さい。

- ・ 警戒宣言発令後は送迎バスの運行は中止となります。その際は、家族の方などに送迎をしていただいで下さい。  
(警戒宣言が発令されると、タクシー・バス・鉄道などの公共交通機関も原則として運行が中止されます。)

- ・ 当院のエレベーターは利用出来なくなります。

## 地震発生時

- ・ 透析中の場合は、ヘルメットをかぶり、掛布団を頭からかぶって落下物から身を守って下さい。また、ベッドから落ちないようにベッド柵にしっかりつかまって下さい。特に窓ぎわの方は掛布団を体全体にかぶり、窓ガラスからも身を守って下さい。
- ・ 待合室やロッカーにいる場合は、服・鞆などで頭を守り、物が倒れてこないような場所にしゃがんで下さい。(蛍光灯の下は避けましょう。)



# 地震発生後

## ・院内にいる場合【透析中の場合】

### 透析が続けられるとき

透析を続けます。(帰宅希望者は治療中止可能)

### 透析が続けられないとき

火災・ガス漏れ・津波なし⇒スタッフによる返血回収

火災・ガス漏れ・津波あり⇒スタッフによる抜針離脱・避難

(詳しくは5ページ参照)

- ・地震発生時には掛布団を頭からかぶります。夏場などで掛布団を使わない時でも、常に手の届く位置に置いておきましょう。
- ・火災発生時は透析離脱・避難が必要となる場合があります。落ち着いてスタッフの指示に従いましょう。また緊急時にあわてないためにも、日頃から避難経路を確認しておきましょう。
- ・止血ベルトをお持ちの患者様は、透析中は常にシャント肢側へ止血ベルトを伸ばして置いておいて下さい。  
(止血ベルトがない方のため、当院では緊急時用に止血ベルトを用意してあります。)
- ・緊急避難時は荷物を置いていくことになります。貴重品はなるべく当院へ持ってこないようにしましょう。どうしても必要な時は、常に携帯していることをお勧めします。



# ①避難方法

**\* 透析離脱はスタッフで行います。**

下の図1～3の手順で離脱を行います。  
あせらず落ち着いてスタッフの指示に従って下さい。  
なお避難の際には怪我防止のため、**必ずスリッパを履いて離脱して下さい。**

透析離脱後のシャント肢は下の図3のようになります。  
(針を抜いて止血バンドが巻けたら離脱)

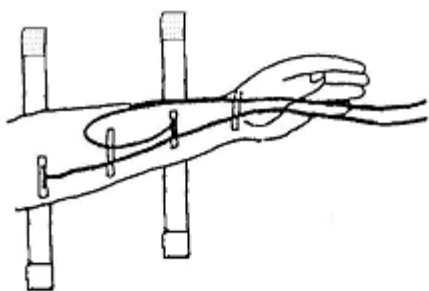


図1  
止血バンド  
を用意して

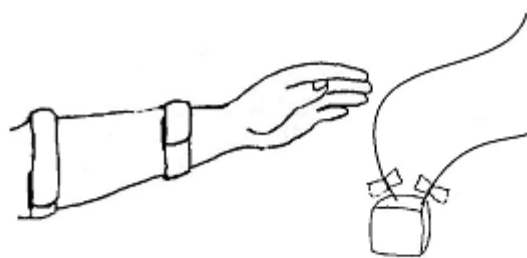


図3  
止血バンドが  
2本巻けたら  
透析離脱していただきます

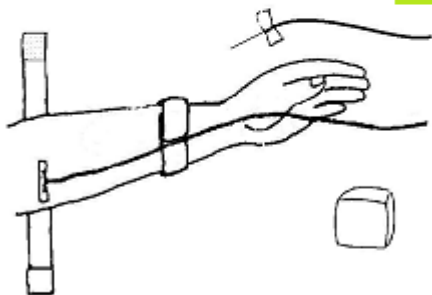
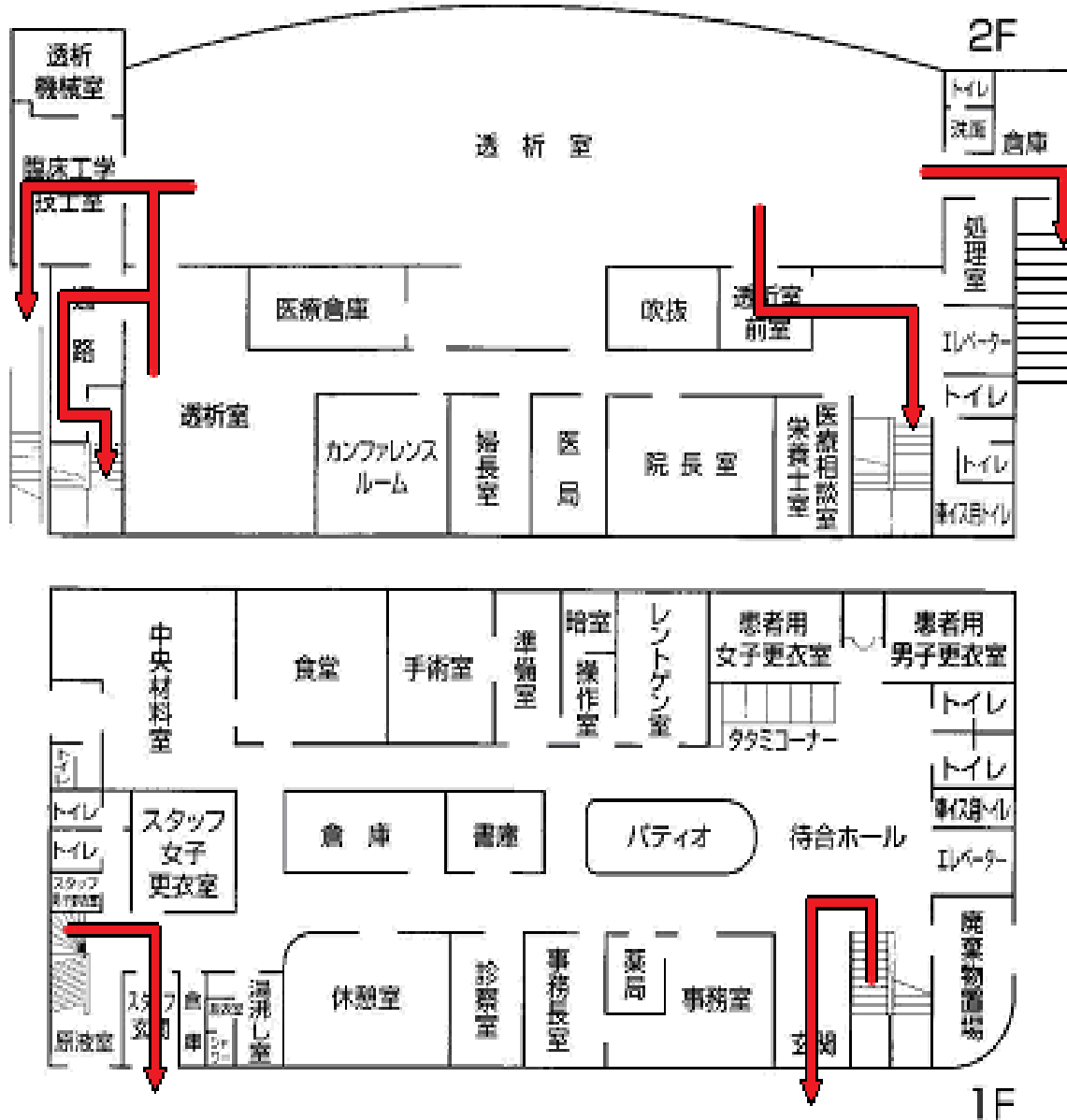


図2  
針を抜いてから  
止血バンドを巻く

## ②避難経路

経路はスタッフが状況を判断し、誘導します。  
落ち着いてスタッフの指示に従ってください。



## ③避難場所

透析中に地震があった場合は  
美浜クリニック駐車場を避難場所とします。

\* 津波警報が発令された場合は、当院裏手側の丘に避難します。

## ・院内にいない場合【自宅・外出先等の場合】

災害発生時は『地域の避難所』に行くようにしてください。

そして避難場所では、必ず避難所のスタッフに『自分が透析患者』であることを伝え、支援を依頼し続けてください。

\* 阪神・淡路大震災や新潟県中越沖地震・東日本大震災などの震災時、行政は申し出のあった透析患者様を優先的に支援しています。

災害発生時、被災地域の状況としては

『交通機関の麻痺（タクシー・バス・電車など）』

『ライフラインの停止（電気・ガス・水道）』

『電話回線の混雑』

が予想されます。

美浜クリニック自体が被災している場合、医療機器や薬全般が使用できず、来院されても対応ができない可能性があります。

透析治療は、ライフラインである、『電気・水道・ガス』の全てが必要になります。どれか1つが欠けても治療は行えません。

そのため災害発生時は、見ただ目で建物被害がなくても透析治療ができない場合があります。

また、当院職員も被災している可能性が高いため、被災時はスタッフが来られず、十分な対応が出来ない状況が予想されます。

そのため、災害発生時は原則として、『地域の避難場所』に行くようにしてください。地域の避難所は安全性が高く、『行政』が介入するので、当院より早い対応が期待できます。

## —電話について—

地震などの災害時には、安否の確認や問い合わせなどの電話が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況が1日～数日間以上続くことが予想されます。

このような場合、当院では『NTT災害伝言ダイヤル171』を利用して、患者様へ透析に関する情報をお知らせします。

地震発生後の状況下で「透析が可能か否か」等の情報を聞くことができます。災害ダイヤルを利用し、状況を把握するようにしてください。

\* 録音内容はいつでも聞くことができます。



# 災害用伝言ダイヤルの利用方法

下記の通りダイヤルして下さい。当院が録音した伝言を聞くことができます。

**1 7 1 → 2 → 0 5 6 9 - 8 2 - 5 2 2 2**

プッシュ式電話機を利用する場合は、最後に「1#」を押す。

各番号をダイヤルすると、下記の案内が流れます。

- ① 1 7 1 ⇒ 「こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は1（いち）、再生される方は2（に）、暗証番号を利用する録音は3（さん）、暗証番号を利用する再生は4（よん）をダイヤルして下さい。」  
↓
- ② 2 ⇒ 「被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。」  
↓
- ③ 0 5 6 9 - 8 2 - 5 2 2 2  
⇒ 「電話番号0 5 6 9 - 8 2 - 5 2 2 2の伝言をお伝えします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の1（いち）の後#（シャープ）を押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。ピッ。」

当院での透析治療が不可能な場合、避難所で行政に支援を依頼するか、患者様ご自身で透析を受けることが可能な施設を探していただく必要があります。透析施設を探される患者様のために、透析が受けられる他施設の情報などについても、情報が入りしだい随時録音していきます。

（伝言は最新の伝言から順に流れます。）

患者様ご自身で透析を受ける施設を探す場合にも、電話がつながりにくい状況に変わりはありません。そのような場合には、他施設の災害用伝言ダイヤルも利用して下さい。

## 171→2→他施設の電話番号（市外局番から）

なお知多半島以外の愛知県内の他施設連絡先については、愛知腎臓財団が発行している血液浄化登録票に記載されています。

この地震対策マニュアルと一緒に保管しておいてください。

### 血液浄化登録票

登録番号 第 号	交付	
氏名	生年月日	
性別	血液型 型	身体障害者等級
透析施設		
浄化開始		
財団法人 愛知腎臓財団		

異常のある場合は早急に最寄りの透析施設にご連絡下さい。  
なお、本登録票は大切に保存して下さい。

## 災害カードについて

他施設で透析を受ける際に『災害カード』を提示していただく場合があります。災害カードには、先方が必要とすると思われる最低限の情報が記載されています。

災害はいつ発生するか分かりません。保険証・身障者手帳等とともに、常に携帯しておきましょう。

**\*月に一度、事務所に保険証を提出された際、DW等の情報を更新しますので、必ず保険証と一緒に提出するようにしてください。**

私、**美浜 太郎** は  
下記の医療施設で **血液透析** を受けています。  
**医療法人 ふれあい会 美浜クリニック**

TEL 0569-82-5222 / FAX 0569-82-5223  
愛知県知多郡美浜町大字北方字山鼻77-7  
美浜クリニックの被災状況を知る方法

NTT災害伝言ダイヤル  
**171→2→0569-82-5222→1#**

医療法人ふれあい会  
半田クリニック TEL 0569-23-1155 / FAX 0569-23-8781  
半田東クリニック TEL 0569-20-1555 / FAX 0569-28-0006

氏名 美浜 太郎 DW 80.0 kg  
生年月日 平成9年12月5日 (2007年7月7日現在)  
血液型 A型 (+)  
自宅住所 知多郡美浜町北方山鼻77-7  
美浜クリニック

#### 感染症情報

HBs抗原	陰性	HCV抗体	陰性
ワ氏(TPHA)	陰性	ワ氏(ガラス板)	陰性
その他	なし		

#### 禁忌情報

薬剤	なし
医療材料	なし
その他	なし

おわりに

このマニュアルは必ず自宅の分かりやすい場所に保管し、災害時にすぐ取り出せるようにしておきましょう。地震で最も怖いのは、揺れより二次災害（地震後の火災・津波等）です。

透析中に、火災・津波等が発生した場合は透析離脱・避難が必要となる場合があります。

いかなる状況でも、患者様には**落ち着くこと・不必要な言動は控えること・スタッフの指示に従うこと**をお願いします。